

1. 3. 13 世中メディア研究会

1. 対象学年 2・3年生

2. 担当教諭 山城 仁、森 美穂

3. テーマのねらい

本テーマ研究では、作品制作をするにあたり、今現在あるものについて自分自身の解釈や物事について理解している内容など、内なる「表現のもと」を周りにわかりやすく伝えることを検討し、具体かしていくこととした。最初の段階として、自らが伝えたい内容について検討すること、そしてそれらはどうすればよりわかりやすく伝えられるかを検討することを目的の一つとした。

また、自らが創作に携わる経験を通して、その媒体としてのメリット、デメリット等をふり返るとともに、その作成過程でものを作り、発信することについての見方・考え方を深めていくことを大きな目的とした。

4. 学習活動の計画

月 日	主な学習内容
5月2日	オリエンテーション（表現の方法について）
6月1日	表現内容・製作構想の検討1
6月8日	表現内容・製作構想の検討2
6月22日	製作
7月6日	製作
	（予備日）
9月7日	製作
9月21日	進捗状況の共有・課題の検討
9月28日	制作
10月26日	制作
11月7日	テーマ研内発表会
11月8日	テーマ研究発表会準備
11月9日	テーマ研究発表会
11月30日	テーマ研究まとめ・自己評価

5. 学習の概要

本テーマ研究の内容は大きく（1）知ること（2）構想すること（3）製作することで構成されている。

- （1）知ることの段階では、私たちの生活環境の周りには今現在どのようなメディアがあるのか、また、それらはどのような使用のされ方をしているのかを概観した。また、特定のメディアを取り上げ、それらが伝えたいメッセージを検討したり、そのメリットやデメリットを考察したりした。また、中にはアナログなメディアに興味を持つ生徒もおり、それらが長く使われている理由などを具体的に考察をした。
- （2）構想することの段階では、自分たちが伝えたい内容を検討するにあたり、「なぜ」を十分に検討しながら伝達する「問い」を立てることに取り組んだ。
- （3）製作することの段階では、撮影した映像をコンピュータを使って編集するグループ、写真を使って一つのものを色々な角度から切り取り展示するグループ、「障がい者」について広く知ってもらうために新聞記事のように内容をまとめるグループに分けられた。それぞれのメディアの特徴を上手く生かしながら、作品を仕上げた。

本テーマ研究で製作した作品、説明は以下のとおりである。

①「校歌ミュージックビデオ」

毎年、新歓で新入生が校歌を覚えます。そのときに流してもらえるように校歌のミュージックビデオを作成しました。日常の学校風景や学校行事を見ながら、校歌の良さを伝える事ができるように作ってみました。

②「オレオレ詐欺対策防止ビデオ」

具体的な役割・台詞を設定・創作し、オレオレ詐欺の様子を再現しました。その上で、その対応策についてわかりやすく説明する内容を動画で編集しました。みなさんもこの動画を見てオレオレ詐欺に気をつけて下さい。

③「学校の時間」一吊るされた写真館

私たち自身の学校についてさらに深く知るために、学校内の生徒に向けたPR企画を考えました。“写真を吊るす”という新しい展示方法に挑戦し、どうすれば見る人の目を集められるか、よりよく学校を知ってもらえるかに工夫を凝らしました。綺麗でユニークな愛すべき自分たちの学校の姿をとらえた写真展です。

④「視覚障がい者新聞」

私たちがまだあまり知らない視覚障がい者のことについてまとめました。私たちは、身近な情報のツールである新聞を選択し、記事内容を作成しました。新聞ということを意識し、相手に分かりやすく内容をまとめました。また世界の視点から考え、アメリカにおける視覚障がい者への対応についてもまとめました。私たちの新聞を見て、少しでも視覚障害者の方々への理解が深まればと思います。

6. 今後の課題

生徒が伝えたいこと、つまり、どのようなところに視点を廻らせ、問いを立てるか、という部分において生徒が一番苦勞していた。また、それらを十分に議論できなかったため、作品の深まりという点に関してさらに検討しなければいけないことを指導者の立場から内省している。来年度以降はさらに焦点を絞りながら、生徒がさらに内容を吟味し、さらに深い視点を持って表現できるような取り組みを検討していきたい。